

# 印字検査と紙折を連携・自動化するカメラ 印字検査付紙折機を用いた事業拡大計画

当社の新規事業である印刷印字封入封緘受託作業において、目視検査作業を印字位置検査カメラ付紙折り機に変えたことにより顧客満足度と費用対効果を増加し、新規顧客開拓と独自性の高い事業を構築した。



## 成功のポイント

「社員が安心して働ける会社作り」がポイントです。中小企業であっても、会社経営に不安を感じさせないよう、利益が出せる仕事を考え、社員と共に働き、経営を安定化させ、十分な給料を支払う。それを実現させるための作業効率化であり新機種の導入でした。私には印刷以外の取り柄がないと思うため、印刷を通じて従業員や家族を幸せにし、社会貢献ができたかと考えています。



代表取締役 田村耕作氏

## 企業名

## 昭和印刷株式会社

## 所在地

〒132-0021 東京都江戸川区中央3-19-20

## 電話番号

03-3653-9256

## URL

<http://www.showaprinting.co.jp>

## E-mail

syowa@theia.ocn.ne.jp

## 代表者

田村耕作

## 資本金

1,000万円

## 従業員

8人

## 企業紹介

昭和32年の設立以来、当社は高品質かつ小回りのきく対応で顧客満足度を高め、信頼を集めてきた。同業者からの下請け仕事は極力行わず、エンドユーザーとの取引を主とする。顧客先での会話からニーズを引き出し、イラスト作画、わかりやすいデザイン編集等が評判となった。

約10年前より今後の印刷需要減を見越し、従来の印刷技術を生かした新しいジャンル「印刷印字封入封緘委託事業」を開拓した。個人情報を取り扱うためPマークを取得し、バーコード払込票等のデータ印字、封筒への封入封緘、発送まで一貫した作業を自社工場内で行っている。

## 取組みの内容

「これからの社会に必要な印刷物」という点に着目し、「印刷印字封入封緘委託事業」を開始した。印刷工程にはaccessを使った独自プログラムを活用した納付書・通知書、バーコード払込票等の印字を行う。その際10万通のうち1通のミスも許されない印字チェックがあり、その後、紙折作業に工程が移る。この印字チェックと紙折を同工で行える印字検査カメラ付紙折機（ホリゾン社製AFC-564AKT）を導入した。また、その2年後には、印刷精度とスピード及び多様化に応えるオンデマンド印刷機（キヤノン imagePRESS1135III）を導入した。



自動封入封緘機



オンデマンドプリンター imagePRESS 1135 III



印刷から封緘まで工場内で完結が可能

## サービスのポイントと課題

印字検査カメラ付紙折機を導入後、品質と作業効率は大幅に改善され、社員の時間的な負担や人的精度による疲労を軽減できた。一方で、顧客の満足度を更に改善するため、2年後に再び、ものづくり補助金を活用し印字専用オンデマンド印刷機を導入し、補助事業を利用する前年度と平成30年度を比較すると売上15%増加、マイナス50万円だった経常利益がプラス1,000万円となる等、高い経済効果を得ている。現在、大手健保組合と新規契約を獲得、今後ますます仕事量が増えるため、更なる生産性向上が必要になると同時に顧客の満足度を高める工夫を考える等、課題は尽きない。

## 今後の展望

「印刷印字封入封緘委託事業」は、新規取引拡大に合わせて平成30年度補正の補助金を利用して新機械を導入し、更なる生産性の向上と顧客満足度を高めていく予定である。また、同時にイラスト・デザインを用いたリーフレットや帳票類等、従来のオフセット印刷事業が新規顧客にも好評のため、従来の事業と新規事業を結び付ける方法を模索している。例えば、顧客先にあったバリアブルパンフレット等を作成し、それを必要とする人へ直接提供できるような、バリアブル印刷の利点とアナログ印刷の技術力双方を最大限に活かせる事業を進めていく予定である。